



シラバス参照

<<最終更新日：2026年02月27日>>

基本情報

時間割コード	030882
開講区分(開講学期)	春～夏学期
曜日・時間	金3
開講科目名	特殊講義（コンサルティング入門：共感に基づく地域経済の理解と活性化）
開講科目名(英)	Special Lectures (Introduction to Consulting: Empathy-based understanding and revitalisation for the local economy)
定員	0
教室	法経/4番
ナンバリング	03ECBM4E403
授業形態	講義科目
単位数	2.0
年次	3,4,5,6年
担当教員	松井 博史,上須 道徳
メディア授業科目	非該当

※メディア授業科目について

授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としています。
学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

講義室	
-----	--

詳細情報

授業サブタイトル									
開講言語	日本語								
学習方法	討論: 学生同士や教員との間で質疑応答や意見交換を行うことで学ぶ（例：ペア・グループディスカッション、オンラインでのチャット、論文個別指導） 協同: ペアやグループで行う協同作業を通して学ぶ（例：グループによるポスター制作） 調査: 本や論文から情報を収集したり、フィールドワークでデータを収集・分析して学ぶ（例：先行研究整理、フィールドワーク） 体験・実践: 体験・実践等の行動ならびにそれに対するフィードバックにより学ぶ（例：問題演習、機器等を使う実験、学内外実習、スポーツ等の実技、課題解決型学習、インターンシップ） 発表: 執筆、プレゼンテーション、作品制作等により学ぶ（例：レポート作成、プレゼンテーション、ポスター発表、作品制作、ポートフォリオ）								
授業の目的と概要	実際の企業の課題に、コンサルティングプロジェクトとして取組むことで調査やプレゼンテーションなどの実務能力を養うとともに、地方企業の課題に取り組むことで地域経済の理解を深めることを目的とする。受講生には相当の覚悟とコミットメントが求められる。 講義のほとんどの時間がグループに分かれての企業に対しての報告資料の作成に費やされる。ただし、前半では基本的な調査の方法やコンサルティングプロセスについて解説を行う。 大学が費用を負担した現地訪問を予定していることもあり、受講生を15名程度に制限する。選抜方法は抽選を基本とするが、形式自由のレポートが提出された場合はその内容を加味する。								
学習目標	<table><tr><td>1</td><td>コンサルティングプロセスの基本が理解できていること。</td></tr><tr><td>2</td><td>地域経済の課題が理解・体感できていること。</td></tr><tr><td>3</td><td>調査・立案に関する基本的な事項が実行できること。</td></tr><tr><td>4</td><td>プレゼンテーションについての基本が身についていること。</td></tr></table>	1	コンサルティングプロセスの基本が理解できていること。	2	地域経済の課題が理解・体感できていること。	3	調査・立案に関する基本的な事項が実行できること。	4	プレゼンテーションについての基本が身についていること。
1	コンサルティングプロセスの基本が理解できていること。								
2	地域経済の課題が理解・体感できていること。								
3	調査・立案に関する基本的な事項が実行できること。								
4	プレゼンテーションについての基本が身についていること。								
履修条件・受講条件	ワーク・プレゼンテーションの実施や関連アプリケーションの利用のため、Windows, Mac, Linux いずれかのPCまたは同等の作業ができる機器を持参してください。								

	2回の現地訪問を予定しており、できるだけ2回とも参加していただきたいです。費用は大学が負担します。	
出欠席及び受講に関するルール	全授業回数のうち3分の2以上出席することが必要です。出席回数がこれに満たない場合、成績評価の対象外となります。	
授業計画	第1回	題目:ガイダンス
		講義全体のガイダンス
		授業時間外学習：選抜試験
	第2回	題目:コンサルティングプロセス概論
		課題説明 グループ分け コンサルティングプロセス
		授業時間外学習：課題提出
	第3回	題目:基本情報の調査
		対象地域・企業の基本情報調査 課題の背景理解と仮説抽出
		授業時間外学習：調査結果提出
	第4回	題目:質問準備
		報告イメージの作成 質問の準備
		授業時間外学習：質問案提出
	第5回	題目:ヒアリング（現地訪問）
		対象企業へのヒアリング 実施の方向性の議論 現場視察
		授業時間外学習：現地訪問（1泊2日を予定）
	第6回	題目:コンサルティングの実施
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成
		授業時間外学習：調査実施 資料作成
	第7回	題目:コンサルティングの実施
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成
		授業時間外学習：調査実施 資料作成
	第8回	題目:コンサルティングの実施
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成
		授業時間外学習：調査実施 資料作成
	第9回	題目:コンサルティングの実施
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成
		授業時間外学習：調査実施 資料作成
	第10回	題目:コンサルティングの実施
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成

		授業時間外学習：調査実施 資料作成					
	第11回	題目:コンサルティングの実施					
		中間発表					
		授業時間外学習：調査実施 資料作成					
	第12回	題目:コンサルティングの実施					
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成					
		授業時間外学習：調査実施 資料作成					
	第13回	題目:コンサルティングの実施					
		コンサルティングプロセス研修 調査実施 資料作成					
		授業時間外学習：調査実施 資料作成					
	第14回	題目:コンサルティングの実施					
		プレ発表 口頭試問・相互評価					
		授業時間外学習：調査実施 資料作成					
	第15回	題目:最終発表（現地訪問）					
		授業時間外学習：現地訪問（1泊2日を予定）					
教科書・指定教材		随時参考書等を紹介します。					
参考図書・参考教材							
成績評価 ※学習目標の番号にカーソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。		評価方法	口頭試問	発表	学習への参加度	小テスト	
		学習目標1	○	○		○	
		学習目標2		○	○		
		学習目標3	○	○	○	○	
		学習目標4		○			
		評価割合（%）	20%	40%	20%	20%	
成績評価に関する補足情報		グループに分かれての実施が主となるため、成績評価はグループ評価と個人評価を総合する。 評価方法は変更の可能性がある。					
成績評価基準		成績評価基準については大阪大学Webサイトを参照 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/pdf/pjl2fk					
合理的配慮		・ 本授業を受けるにあたり、障がい（難病・慢性疾患等を含む）に起因して合理的配慮を要する場合は、 所属学部／研究科の障がい学生支援担当窓口（教務係／学務係／学生支援係等）や 健康支援相談センターアクセシビリティ支援室に相談してください。 ・ 詳細はこちらを参照してください。 健康支援相談センターアクセシビリティ支援室 Website： https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp 相談申込み： https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp/soudan/					
特記事項		第2回講義までに受講生を選抜する。					
実務経験のある教員による授業科目		担当教員の一部は、外資系コンサルティング会社に勤務した経験があり、本講義は実務経験を生かして構成される。 今年度は兵庫県の実際の企業4社へのコンサルティングを予定しており、最終発表にはCEOクラスが臨席して下さる予定である。					

授業担当教員

教員氏名	所属・職名・講座名	e-mail
------	-----------	--------

上須道徳	経済学研究科	
松井博史	経済学研究科	matsui.hiroshi.econ@osaka-u.ac.jp

学生への注意書き